

# 都市計画法 50 年・100 年記念シンポジウム第 4 弾

記念シンポジウム第 4 弾では、地区の計画とマネジメントに焦点を当てる。1980 年創設の地区計画制度は、地区を対象としたきめ細かな規制誘導と公共施設の一体的計画整備に貢献してきた。その後 1988 年に再開発地区計画（現再開発等促進区）、2000 年代に特区制度が追加され、地区を対象とした計画・整備手法が大きく発展している。

本シンポジウムでは、これらの制度の到達点を踏まえ、都市機能の更新や再整備を進める上で、今後重要性を増していく、マネジメントを含めた地区の都市再構築手法のこれからを展望する。



# 地区の計画とマネジメントを議論する

— 地区計画・再地区・特区 —

2020 年 2 月 22 日（土）13:30-16:30(13:00 開場)

日本大学 駿河台キャンパス  
タワー・スコラ 1 階 S-101 会場

東京都千代田区神田駿河台 3 丁目

JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 3 分

東京外口千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩 3 分

東京外口丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 5 分

【主催】日本都市計画学会

【プログラム】

13:30 開会 出口敦（日本都市計画学会副会長・東京大学教授）

趣旨説明 藤井さやか（筑波大学准教授）

13:40 話題提供

地区計画制度の成果とこれからの展望

佐谷和江（計画技術研究所代表取締役）

特定地区の計画手法の変遷（地区計画、再地区、特区）を踏まえた成果と課題

明石達生（東京都市大学教授）

地区の計画手法による緑地空間の保全・整備とマネジメント

舟引敏明（宮城大学教授）

ようやく「マネジメント」の時代に入った地区交通と生活道路整備

久保田尚（埼玉大学教授）

コントロール手法／地区計画とマネジメント手法／エリアマネジメント

小林重敬（森記念財団理事長）

15:10 話題提供者によるパネルディスカッション

コーディネーター 有田智一（筑波大学教授）

16:20 閉会 出口敦

16:30 終了

【参加申し込みフォーム】

<https://www.cpij.or.jp/com/50+100/4th20200222.html>

【参加費】無料

【定員】270 名（申し込み順）

【照会・連絡先】

日本都市計画学会事務局  
50+100@cpij.or.jp